



7月11日、安楽島小学校の放課後教室あらっ子67人が鳥羽まちなみ水族館に展示する作品づくりに挑戦しました。

鳥羽まちなみ水族館実行委員会のみなさんによる丁寧な指導により、さまざまな海の生き物が紙粘土で作られました。参加した西尾大志くんは「ウニを作って楽しかった」と笑顔で話してくれました。

完成した作品は、7月30日から鳥羽駅連絡通路に展示されます。ぜひご覧ください。

「まちなみ水族館」を開催します



6月29日、鳥羽市老人クラブ連合会「パールライフ鳥羽」が主催するニュースポーツ大会が開催され、約130人の会員が参加しました。

輪投げや玉入れ、ガラッキーが行われ、各クラブは親睦と交流を深めました。ガラッキーとは、ロシア発祥のゲームと呼ばれる円錐形のボールを使うスポーツであり、参加したかたは「団体戦で協力し合って盛り上がった」と感想を話してくれました。

鳥羽市老人クラブ連合会では会員を募集しています。希望するかたは、最寄りの老人クラブへ連絡してください。

活気あふれるニュースポーツ大会



7月15日、さまざまな大漁旗で彩られた安楽島漁港で櫓漕大会が行われました。

子どもたちが担いできた神輿みこしを載せた木造船が海上渡御により安全祈願すると、会場では九鬼水軍太鼓や婦人会による踊りが披露されました。

レースでは、「九鬼水軍荒島砦」あらしまとりで「九鬼水軍鳥羽砦」と書かれた旗を掲げた木造サップ船に1チーム7人がそれぞれ乗り込み、太鼓のリズムに合わせて櫓を漕ぎました。沖にあるブイを回って戻ってくる速さが競われ、会場からは大きな声援が上がりました。

波をかき分けて勝負！安楽島で櫓漕大会



7月8日、毎年恒例の鳥羽清港会による海の大掃除が行われました。

前日からの天候不良により、海中の視界が悪く、例年実施してきた潜水作業は行われませんでした。439人の参加者が佐田浜周辺を中心に草刈りやごみ拾いを行い、4,490kgの草やごみを回収しました。

鳥羽清港会の吉川勝也会長は、「わたしたちの海と景観を守り、後世にきれいな海を引き継いでいくために今後も活動に取り組んでいきたい」と語ってくれました。

鳥羽清港会「第41回海の大掃除」